

令和5年度 事業報告

令和5年度事業報告	1
(1)本部	2
各事業部会 点字出版部会	8
情報サービス部会	9
自立支援施設部会	12
生活施設部会	13
盲人用具部会	14
(2)盲人ホーム杉光園	15
(3)東京視覚障害者生活支援センター	17
(4)検定試験事業	21
附属明細書	22

社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会

令和5年度 日盲社協事業報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会

《はじめに》

令和5年、日盲社協は創立70周年を迎え、記念事業を実施し、70周年記念大会を開催した。

記念事業としては、①記念誌の発行、②紹介DVDの製作、③ホームページの刷新を実施し、結果が翌年度に持ち越されたものはあったものの、それぞれが成果をあげることができ、形として、後世に残すことが出来た。

記念大会は、コロナ禍により、ここ3年、中止、オンライン、オンラインと続いてきた形態を、1日とは言え、対面に戻して実施することができた。オンラインにはオンラインの良さがもちろんあるが、やはり対面で行うことの意味はかなり大きかったように思う。特に強調したいことは、非常に多くの職員やボランティアが相当の年数にわたって視覚障害者福祉に取り組んできたことを、目の当たりにできたことである。こうした方々は、法人としての財産であり、この力を今後、どう生かしていくかが問われていると感じた。

さて、記念大会は実施できたが、まだコロナ禍の余波は強く、施設運営にも依然として大きな影響を与えていると言える。こうした悪い影響をどう払拭して次に進むかは大きな課題として残されている。

また、ここ数年テーマとして掲げてきた連携は、各地でどういう形を見せてきているか。また、日盲社協内でどうした形を取るようになってきたか。検証が必要に思う。記念大会の開催に注力したが、各部会間の連携の進め方については、反省すべき点が多いように思う。

さらに、視覚障害者に係る各種機器類については、他団体からも要望が出ているように、価格や供給、維持の面で大きな課題を抱えている。こうした団体とのつながりをいかに構築していくかも重要な点である。

令和5年度は、日盲社協創立70周年という記念すべき年になったが、「70」という歴史の長さ、そこから生み出された多くの成果を認識しつつ、何年か後に、新たな歩みを始めた年という評価を得ることができれば、望外の喜びである。

《本部》

1 役員会等の開催

(1) 理事会 4回開催

第1回理事会

期日 令和5年5月26日 13:30～15:05

場所 東京視覚障害者生活支援センター 1階 会議室
及びリモート(Zoom)接続の各会場

議題 第1号議案 令和4年度事業報告(案)について
第2号議案 令和4年度収支決算報告(案)、財産目録について
第3号議案 社会福祉充実計画について
第4号議案 定時評議員会の招集について
第5号議案 辞任に伴う新評議員候補者の推薦について
第6号議案 任期満了に伴う新役員等候補者の推薦について
第7号議案 令和5年度決議文(案)について

報告事項 (1) 理事長及び業務執行理事の職務状況報告

出席状況 理事9名、監事2名出席により成立 名誉会長も出席した。

第2回理事会

期日 令和5年6月16日 15:00～15:30

場所 東京視覚障害者生活支援センター 1階 会議室
及びリモート(Zoom)接続による各会場

議題 第1号議案 理事長の選定について
第2号議案 業務執行理事の選定について
第3号議案 音声版選挙公報資材費等積立金取崩について

報告事項(1)東京視覚障害者生活支援センターの建替え中の移転先について

出席状況 理事10名全員、監事2名出席により成立 名誉会長も出席した。

第3回理事会

期日 令和5年10月23日 13:00～13:40

場所 リモート(Zoom)開催により、接続先の各会場

議題 第1号議案 アピール文案について

報告事項(1)創立70周年記念第71回全国盲人福祉施設大会について

(2)厚生労働省陳情報告

(3)理事長及び業務執行理事の職務状況報告

出席状況 理事9名全員、監事2名出席により成立 名誉会長も出席した。

第4回理事会

期日 令和6年3月19日 13:30～15:00

場所 東京視覚障害者生活支援センター 1階 会議室
及びリモート(Zoom)接続による各会場

議題 第1号議案 令和5年度補正予算(案)について

第2号議案 令和6年度事業計画(案)について

第3号議案 令和6年度収支予算(案)について

第4号議案 3月評議員会の招集について

第5号議案 各事業部会の決議文(案)について

報告事項(1)創立70周年記念事業進捗状況報告

(2)理事長および業務執行理事の職務状況報告

出席状況 理事9名全員、監事2名出席により成立

名誉会長、東京視覚障害者生活支援センター所長も出席した。

(2) 常務理事会 11回開催

第1回 期日 令和5年4月20日

第2回 期日 令和5年5月16日

第3回 期日 令和5年6月23日

第4回 期日 令和5年7月28日

第5回 期日 令和5年8月25日

第6回 期日 令和5年9月21日

第7回 期日 令和5年12月1日

第8回 期日 令和6年1月17日

第9回 期日 令和6年2月6日

第10回 期日 令和6年2月20日

第11回 期日 令和6年3月1日

出席状況 いずれも理事長、常務理事2名が出席し、喫緊の諸問題を協議した。

(3) 評議員会 2回開催

定時評議員会

期日 令和5年6月16日 13:30～14:25

場所 東京視覚障害者生活支援センター 1階 会議室
及びリモート(Zoom)接続による各会場

議題 第1号議案 令和4年度事業報告(案)の承認について

第2号議案 令和4年度収支決算報告(案)の承認について

第3号議案 財産目録の承認について

第4号議案 社会福祉充実計画について

第5号議案 任期満了に伴う新役員等の選任について

報告事項（１）任期満了に伴う顧問・参与について
（２）辞任に伴う評議員２名の交代について
出席状況 評議員１０名、監事２名出席により成立
議案説明理事３名、名誉会長も出席した。

３月評議員会

期日 令和６年３月２９日 １３：３０～１４：３０
場所 東京視覚障害者生活支援センター １階 会議室
及びリモート(Zoom)接続による各会場
議題 第１号議案 令和５年度補正予算案承認について
第２号議案 令和６年度事業計画案承認について
第３号議案 令和６年度収支予算案承認について
報告事項（１）創立７０周年記念事業進捗状況報告
出席状況 評議員１０名、監事２名出席により成立
議案説明理事２名、東京視覚障害者生活支援センター所長、
名誉会長も出席した。

（４）監事監査会

期日 令和５年５月１８日 １３：００～１５：００
場所 東京視覚障害者生活支援センター １階 会議室
出席状況 監事２名、説明理事３名
内容 事業報告案に関しては、秋山寛監事が、収支決算報告案及び財産目録案に関し
ては、島田功監事がそれぞれ監査し、その結果、修正箇所を指導した上で、監
事監査報告書に署名した。

（５）評議員選任・解任委員会

期日 令和５年５月２６日 １５：２０～１５：４０
場所 東京視覚障害者生活支援センター １階 会議室
出席状況 外部委員、監事委員、事務局委員、全委員出席により成立
議案説明者として、長岡雄一理事長も出席した。
内容 評議員２名退任にかかる承諾及び残任期間の評議員２名の選任をした。

（６）５部会長会議 オンラインにて２回開催

第１回 期日 令和５年４月２６日
第２回 期日 令和５年５月１７日
内容 各事業部会部会長が喫緊の諸問題を報告し、見解を交換しながら横断的に討議
した。

2 会員施設の入退会状況に関する事項

(1) 入会 5 施設

自立支援施設部会: 日本盲導犬協会仙台訓練センター、同協会島根あさひ訓練センター、
同協会日本盲導犬総合センター、 春己ガイドサービス株式会社、
同行援護事業所おとも

(2) 退会 1 施設

点字出版部会: エスケービー

令和6年4月1日現在、会員施設数は、日盲社協直営の2施設を含めて、197施設。
(各部会の内訳: 点字出版部会 24 施設、情報サービス部会 85 施設、自立支援施設部会 51 施設、生活施設部会 19 施設、盲人用具部会 18 施設)

3 委員会活動

- (1) 第23回日盲社協社内検定試験実施のために、検定試験運営委員会を2回、試験実施委員会を9回開催した。
- (2) 創立70周年記念事業準備のために、実行委員会を4回開催した。

4 創立70周年記念第71回全国盲人福祉施設大会の開催

日時	令和5年11月9日 11:30~18:00
会場	ホテルグランドヒル市ヶ谷
主管	社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会 法人本部
参加者	約150名
内容	開会式 講演Ⅰ テーマ『障害者権利条約の国連勧告と視覚障害者運動』 講師 弁護士・名古屋市視覚障害者協会会長 田中伸明 氏 講演Ⅱ テーマ『視覚障害者活動をイノベーションする: 楽観主義・多様性・ソーシャルで』 講師 一橋大学名誉教授・法政大学大学院教授 米倉誠一郎 氏 創立70周年式典(特別表彰、ボランティア・永年勤続職員・援護功労者表彰、 来賓祝辞、アピール文発表、次期大会開催主管施設挨拶) 創立70周年記念祝賀会

5 創立70周年記念事業の実施

- (1) 創立70周年記念誌「日盲社協70年のあゆみ 1953-2023」を、令和6年2月20日に発行し、各会員施設・関係者等へ送付した。
- (2) 日盲社協紹介DVDを作成した。
- (3) 日盲社協ホームページの作り直しについては、令和6年3月に業者を決定し、5月を目途に新しいホームページ公開を準備中である。

6 第23回日盲社協社内検定試験(点字技能師)の実施

令和5年11月12日に、東京会場・京都会場・福岡会場・仙台会場の4ヶ所で実施した。

7 広報事業

「日盲社協通信」を、5月と12月に発行した。

Vol.86、Vol.87とも、墨字版300部・点字版220部を作製し、会員施設及び関係団体・関係者・執筆者等へ配布した。また、ホームページにもPDF版とテキスト版を掲載した。

8 福祉関係団体への参加と活動

日本盲人福祉委員会、日本障害者協議会、日本点字委員会、障害者放送協議会等各関係団体へ委員・協議員等が参加し協力活動をした。

9 点字普及活動(地域における公益的な取組)

点字の学習を希望している全国の受刑者へ、点字に関する資料一式を提供した。また、刑務所内では、点字器・点筆の所有が認められないため、法人独自で作成した『点字練習用紙』を提供して点字を打つ疑似体験を通して点字習得ができるよう、点字普及活動を行った。

10 その他

(1) 陳情活動

日時 令和5年10月10日

場所 厚生労働省

出席者 理事長、常務理事2名

対応 厚生労働省(社会・援護局、障害保健福祉部、老健局)

(2) 褒章等表彰者の推薦

長岡雄一理事長が、第18回近藤正秋賞に株式会社ラビット代表取締役社長・荒川明宏氏を推薦し、受賞決定された。

(3) 関係団体への後援及び協力

関係団体等への後援は下記の通り

団体名	イベント名	協力の種別
日本ライトハウス	令和5年度視覚障害リハビリテーション基礎講習会	後援
きょうされん	第46回全国大会	後援・協賛
日本ロービジョン学会	第24回日本ロービジョン学会学術大会	後援
東京光の家	光バンド結成35周年記念チャリティコンサート	後援
日本点字図書館	第20回本間一夫文化賞表彰式	後援
NPO サイトワールド [®]	サイトワールド2023	後援
全視情協	第48回全国視覚障害者情報提供施設大会	後援
厚生労働省	令和5年度目の愛護デー	協賛

日視連	視覚障害者ガイドヘルパーの日設立記念イベント	後援
日視連	第 77 回視覚障害者福祉大会(熊本大会)	後援
日本ロービジョン学会	第 25 回日本ロービジョン学会学術大会	後援

《点字出版部会》

- 1 「点字図書出版速報」の発行（12回）
- 2 「点字出版図書のデータベース」のデータ維持
- 3 「点字出版図書総合目録点字版（令和5年度版）」全5巻の発行（30セット製作）
- 4 点字版自治体広報誌の発行の普及・拡大に向けた取り組み
今後の取り組みについて検討中。
- 5 「選挙公報」点字版製作のための活動
次回の国政選挙に向けた対応について、情報交換を行った。
- 6 点字普及の取り組み
5年度は審査すべき新たな事案、資料の持ち込みはなかった。
- 7 『点字出版物製作基準』の製作について
コロナ禍のため、助成金の再申請も含めて活動中止
- 8 事業部会の開催 中止
- 9 中間部会の開催
日時 令和5年8月25日
場所 日本視覚障害者団体連合
出席者 14施設・21名
議題 「令和5年度事業の懸案事項について」ほか
- 10 職員研修会
日時 令和5年12月7日・8日
場所 名古屋国際センター（名古屋市中村区）
出席者 18施設・50名
テーマ 「点字自動製版について」「印刷・製本に必要な機器について」
「名古屋ライトハウス近藤正臣会長の講演」ほか
- 11 役員会の開催
部会運営のため、部会役員会を2回開催（オンライン）
- 12 その他
関係機関との調整・打ち合わせ等を行った。

《情報サービス部会》

1 部会総会の開催

通常部会総会（書面決議）

日時 令和5年6月9日提案、6月26日決議

- 議案
- 1 令和5年度運営体制及び各委員の確認
 - 2 令和4年度事業報告案及び同決算報告案並びに監査報告
 - 3 令和5年度事業計画案及び同予算案
 - 4 その他特別委員会関係

2 運営委員会の開催

第1回運営委員会・委員長合同会議（オンライン）

日時 令和5年6月1日

- 議案
- 1 令和5年度運営体制及び各委員
 - 2 令和4年度事業報告案及び同決算報告案
 - 3 令和5年度事業計画案及び同予算案
 - 4 その他特別委員会関係

第2回運営委員会・委員長合同会議

日時 令和6年2月22日 13:00～17:00

場所 東京都「TKP品川カンファレンスセンター」

- 議案
- 1 令和6年度運営体制及び各委員の確認
 - 2 令和6年度事業計画案並びに予算案
 - 3 部会規約の改訂等について
 - 4 令和6年度日盲社協大会決議文案について

部会監査会 令和5年4月13日

3 正副部会長会議

部会三役会 令和5年8月7日（オンライン）ほか随時メール協議

全視情協三役との情報交換会 令和6年1月24日（オンライン）

4 委員会活動

（1）点字指導員研修委員会

①委員会活動

令和5年度点字指導員研修会開催準備並びに運営

委員会（オンライン及び岐阜アソシア） 9回開催

4月28日、6月30日、7月5日、7月14日、8月17日～18日、
9月11日～12日、10月31日、12月4日、2月6日

②講習会・認定試験の開催

第28回点字指導員資格認定講習会

期日：令和5年8月17日～18日（オンライン）

申込者 130名 受講者 95名

第28回点字指導員資格認定試験

期日：令和5年9月11日

受験者 95名 合格者 52名

（2）音訳指導員研修委員会

①委員会活動

委員会（オンライン） 1回開催 5月11日

全国視覚障害者情報提供施設協会録音委員会との合同プロジェクト会議（オンライン）

4回開催 5月19日、7月21日、12月1日、3月15日

ブロック研修会 11月27日～28日（中部）

教材動画の使用対応 中部ブロック研修会、3施設

音訳指導員養成講習会交流会 8月4日（オンライン）

参加者 27施設・団体 37名

（3）情報化対応支援者研修委員会（情報機器コース）

①委員会活動

第14回情報機器コース開催準備並びに運営

委員会（オンライン及び日本点字図書館） 5回開催

4月28日、6月20日、7月3日、10月20日、1月12日

②講習会の開催

情報化対応支援者研修会（第14回 情報機器コース）

期日：令和5年12月6日～8日（日本点字図書館）

受講者 28施設・団体 31名

（4）情報化対応支援者研修委員会（相談支援コース）

①委員会活動

第7回情報機器コース開催準備並びに運営 随時メール協議

②講習会の開催

情報化対応支援者研修会（第7回相談支援コース）

基礎コース 期日：令和5年12月14日～15日（オンライン）

受講者 31名

応用コース 期日：令和6年2月8日～9日（オンライン）

受講者 28名

(5) 音声版選挙公報製作委員会

①委員会活動

三媒体総務省訪問 9月29日

事務局会議 1回開催 1月9日

委員会 1回開催 3月7日

研修会企画会議 1回開催 4月21日

②研修会の開催

音声版選挙公報製作研修会

期日：令和5年5月26日（オンライン）12：30～15：30

参加者 56施設 101名

音声版選挙公報製作研修会初任者研修(オプション) プログラム

期日：令和5年5月26日（オンライン）10：30～11：30

参加者 23施設 39名

③音声版選挙公報製作

統一地方選挙（奈良県知事選・県議選）

衆議院議員補欠選挙（山口県第2区）

群馬県知事選挙

(6) 実態調査プロジェクト委員会

実態調査の実施

「日本の点字図書館 38」公表

委員会については、随時メールにて連絡調整

(7) その他関係機関（部会推薦）

①障害者放送協議会災害時情報保障委員会

委員会 期日：令和6年1月17日 10：30～12：00（オンライン）

②障害者放送協議会放送・通信バリアフリー委員会

障害者放送協議会放送・通信バリアフリー委員会

期日：令和5年5月17日 10：00～12：00（オンライン）

放送事業者との意見交換会

期日：令和5年5月29日 14：00～17：00（NHK放送センター）

障害者放送協議会 令和5年度第1回総会

期日：令和5年6月28日 14：00～16：00（オンライン）

③日本点字委員会

日本点字委員会総会および研究協議会

期日：令和5年6月3日 9：45～16：20（オンライン）

④サピエ運営委員会

サピエ運営委員会

期日：令和6年2月15日 10：00～12：00（オンライン）

《自立支援施設部会》

令和5年度においては、職員研修会等の実質的な活動を実施することができなかった。

1 会員施設の現状について

自立支援施設部会の各施設の現状について、一部の情報共有にとどまり、全体を把握できていない。各施設の現状や困っていること、改善したいこと、事業継続計画（BCP）の作成状況とコロナ後の運営で変わったこと、盲人ホームから就労継続支援事業B型への移行事例、令和6年度報酬改定の影響、職員研修会への要望などの内容について、アンケートを準備中である。会員施設の現状と要望を踏まえ活動を活性化させる。

2 令和5年度決議文について

令和5年度決議文は、従来から要望している項目と実際にサービスを提供する現場からの具体的な要望、令和6年度の障害福祉サービスの報酬改定の動向を踏まえ、以下の4項目とした。

- 一 盲導犬（補助犬）育成について、60%を下回る盲導犬育成経費の公的支援率を上げる取り組みと、年間2000回を超えるフォローアップ訓練に訓練費の助成が支給されるよう制度の見直しを要望します。
- 一 盲人ホーム事業の安定的運営のための助成金の増額を要望します。
- 一 就労移行支援事業報酬体系について、障害の重さ（職業判定、手帳の障害等級など）による支援量の違いや重度障害者の就職者数へのインセンティブ（報酬単価の増額）を要望します。
- 一 同行援護事業のヘルパーが不足しており、適正なサービス利用計画が立てられず、視覚障害者の移動ニーズや情報取得ニーズに応えられていません。十分なヘルパーの確保ができるよう同行援護サービス報酬単価の増額を希望します。

《生活施設部会》

1 陳情活動

(1) 視覚障害者を対象とする養護老人ホーム、救護施設、グループホームなどの入所施設が、Wi-Fi環境を整備する際には、国から補助金を交付していただけるよう厚労省に陳情した。

(2) 全国の市区町村の養護老人ホームに対する入所希望者の措置控えを無くすことについて、厚労省に陳情した。

(3) 65歳を過ぎてから失明した視覚障害者も、グループホームに入所出来るよう厚労省に陳情した。

2 生活施設部会通信の発行

生活施設部会通信第3号を発行した。

《盲人用具部会》

コロナ禍により思うように活動が出来なかった当部会ですが、役員の改選も行い、活動再開の一年となりました。まだエネルギー価格の高騰や円安の影響などから各メンバー個々の事業運営も苦戦を強いられている中、視覚障害者の自立を「社会インフラ」、「支援機器」、「サービス」で支える当部会の社会的な必要性を再認識しました。

1. 用具部会総会の開催

日時 令和5年4月14日

通常部会総会（対面：ラビット会議室、Zoom）

議案1. 令和4年度事業報告案及び同決算報告案並びに監査報告

議案2. 部会長及び会計の担当の改選決議

議案3. 令和5年度事業計画案及び同予算案の決議

2. 令和5年度第一回用具部会

日時 令和5年8月18日（対面：ラビット会議室、Zoom）

議案1. 用具部会の運営方針の決定

議案2. 地方での展示会開催地候補地及び開催方法の決定

議案3. 補装具給付、日常生活用具給付水準の乖離についての審議

3. 令和5年度第二回用具部会

日時 令和5年7月14日（対面：ラビット会議室、Zoom）

議案1. 地方展示会開催候補地の決定（四国、九州）

議案2. 併設するイベントの内容についての審議

議案3. ホームページ集客アップのための施策審議

議案4. 補装具給付、日常生活用具給付水準の意見取り纏め

4. 令和5年度第三回用具部会

日時 令和5年11月21日（対面：ラビット会議室、Zoom）

議案1. 候補地との交渉結果の共有

議案2. 地方展示会の日視連全国大会での継続的開催の方針決定

議案3. 情報部会との連携とDMによる候補地応募の決定

議案4. ホームページ集客アップのためのコラム掲載の審議

令和5年度 盲人ホーム杉光園 事業報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

盲人ホーム「杉光園」は、都内在住の三療の国家資格を持つ視覚障害者に対して、地域生活支援事業として就労支援を行っている。ひとり一人の課題を把握し利用者と改善方法を確認しながら、一日も早く職業人としての「社会自立」ができるよう、それを目標に共に頑張っている。

1. 利用者数の推移

年度開始時：8名

年度終了時：8名

入園者：1名

退園者：1名(就職)

2. 電子カルテの充実と実用化について

昨年に引き続き、電子カルテへの入力指導を継続して行った。

年度の後半からカルテへの入力は、日常的な作業となってきた。

3. 患者獲得について

新型コロナウイルスが一般の分類になったため、前年度に比べて、患者の数は大きく伸びた。(令和4年度比の伸び率は80パーセント増)

コロナ禍以前の平成30年度と比較しても、22パーセントの伸び率となった。

4. 関連機関との連携強化

6月から3か月間、一般企業のヘルスキーパー4名の研修を受け入れ、利用者とのコミュニケーション・情報交換等を行った。

5. 防災訓練について

利用者全員が参加できるように、10月11日と12日、防災訓練を2回実施した。緊急呼び出しのマイクの使い方など、防災訓練により、再確認することができた。

令和5年度 盲人ホーム「杉光園」利用実績表

	登録 利用者 数	延 利用者 数	種 別						合 計		利用者負担 金 (20%)	備 考
			マッサージ		はり							
			件数	金額	一科		二科		件数	金額		
					件数	金額	件数	金額				
4 月	8	70	49	168,200	0	0	9	52,400	58	220,600	44,120	4月～コロナ感染緩和のため開園時間を通常で実施 土曜日の通所開始
5 月	9	72	53	188,800	1	4,500	7	33,200	61	226,500	45,300	
6 月	8	74	55	194,200	0	0	9	40,500	64	234,700	46,940	一般企業のヘルスキーパー4名、3か月間研修を受け入 れた
7 月	8	70	42	159,800	0	0	7	31,500	49	191,300	38,260	↓
8 月	8	57	51	173,400	0	0	6	28,700	57	202,100	40,420	
9 月	8	68	57	196,000	1	6,800	15	76,500	73	279,300	55,860	
10 月	8	65	55	189,400	0	0	12	60,800	67	250,200	50,040	
11 月	8	58	68	231,900	0	0	13	65,800	81	297,700	59,540	
12 月	8	57	77	269,500	1	4,500	6	27,000	84	301,000	60,200	
1 月	8	49	52	185,300	0	0	11	54,600	63	239,900	47,980	
2 月	8	56	37	132,700	1	5,000	12	55,700	50	193,400	38,680	
3 月	8	63	69	262,900	0	0	15	72,600	84	335,500	67,100	
合 計	97	759	665	2,352,100	4	20,800	122	599,300	791	2,972,200	594,440	

令和5年度 東京視覚障害者生活支援センター 事業報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

1 はじめに

令和5年度は、開所日数241日で利用者延べ人数は機能訓練4,296人（前年度比383人9.7%増）、就労移行支援2,696人（前年度比352名12.5%減）、センター全体では6,992名（前年度比31名0.4%増）、平均利用率は71.7%（前年度比0.5%減）であった。

新規契約者数は機能訓練40名（前年度比6名減）、就労移行支援22名（前年度比3名減）、終了者数は機能訓練37名（前年度比7名増）、就労移行支援27名（前年度比11名減）であった。

センター全体の延べ利用者数は、前年度とほとんど変わらず、また平均利用率も当初想定を下回ったため、2年連続の赤字決算となった。

この要因として、

- (1) 新規契約者数がセンター全体として前年度より減少したこと
- (2) 就労移行支援利用者が前年度より減少したこと
- (3) 利用者一人あたりの利用日数が週2日程度と減少したこと

などが考えられる。

終了者の状況は、機能訓練からの一般就労は4名（前年度比1名減）、就労移行支援からの一般就労は14名（前年度比5名減）、復職が2名であった。就職に関しては、令和5年度も一定の成果を上げていると考える。令和6年度もハローワークや民間人材紹介会社等との連携をさらに深め、1人でも多くの就労につなげていきたいと考える。

特定相談支援事業については、令和5年度は17名（前年度比1名減）、53件（前年度比1件減）とほぼ同数の相談支援を担当。令和6年度も相談支援員が機能訓練、および就労移行支援との兼務であることから、同じ程度の人数、件数に対応していきたいと考える。

安定した経営のためには、在籍者数、延べ利用者数を増やすことが重要である。そのため令和5年度は広報活動の一環として、ホームページのリニューアルをおこなった。一方、センターを会場とした対面による施設案内会などは、新型コロナウイルスの影響を考え、実施を見送った。令和6年度は、ホームページの更新頻度を高めること、行政機関や医療機関向けの施設研修会を対面とオンラインのハイブリッド形式で実施するなど、積極的な情報発信と広報活動を実施する必要があると考える。

建て替えについては、仮事業所のレイアウトの作成、移転準備のスケジュールの作成など、具体的な検討を行った。円滑な移転計画の実施と利用者への影響を最小限にとどめることができるよう、準備を進めていきたいと考える。

2 機能訓練

まず利用率に関しては、昨年度より高くなり70%を超えたが、目標の80%には届かなかった。ただし、令和5年度のデータを見ると新規契約者は終了者よりも多く、悪い数字ではない。そうであるにもかかわらず利用者数がもう一つ伸びなかったのは週当たりの利用日数が週2回以下の利用者が多かったことが一つの原因であったと考えられる。過去3年間で週2回以下の利用者の割合が最も高く、6割を超え7割に近かった。再編する予定の機器類の訓練が軌道に乗っていけば、新規利用者数・利用日数ともに上がっていくことが期待できる。訓練効果という面でも現在の利用者にも通所日を増やすことを勧めていきたい。

訓練に関しては、令和5年度も必要に応じて内容や教材を追加・修正を加えながら提供してきた。日常生活にも活用でき、これまで同様、利用者の満足度は高かったと思われる。また、ここ数年利用者からの意見が多いパソコンをはじめとする機器類の訓練の再編のための準備も進めてきた。令和6年度から試行し、本格実施へと進んでいけば、より充実したサービス内容になると考える。

ここ数年悩まされてきた感染症については、5月に新型コロナウイルスが5類となり、利用を控える利用者は年間を通してほとんどみられなくなった。感染対策は変わらずに行っていたが、コロナ前と同様の状況に戻ってきた。支援員の訓練体制も年間を通じて変わることなく、質・内容を落とすことなくサービスの提供を行うことができた。季節的な感染症拡大は今後も続くと思われるが、必要に応じて感染対策を行い、安定したサービスの提供を続けることができると考える。

3 就労移行支援

令和5年度は、就労移行支援課の体制が変わり、新たなスタートを切った1年であった。

求人数や面接会などはコロナ前の状況に戻りつつある。事務系職種については、ハローワーク求人の提供、障害者面接会への参加、職場見学会の情報などを提供し、希望者に対しては人材紹介会社を紹介した。その結果、8名（事務系7名、その他1名）が就職することができた。

ヘルスキーパーについては、ハローワークや人材紹介会社からの求人情報の提供もあり、6名が就職した。既設のマッサージルーム案件だけでなく、新規開設の支援も実施した。また、すでに就労している卒業生に対しての施術に関するフォローアップのための時間を作り、継続就労のための支援を実施している。

復職・継続勤務支援については、教材の実施に加えて会社担当者と業務内容の構築、支援機器導入支援などを行い、復職後もそれぞれの職場で継続して働くことができています。

卒業した後も継続してパソコン操作等の電話・メール対応、支援機器の貸し出し支援などを実施し、会社からの問い合わせに関しては、訪問するなど可能な限り対応した。継続した支援が必要な場合は、ジョブコーチを紹介し、連携、引き継ぎを行った。

引き続き、関係機関と連携をして、新規就職だけでなく、復職、卒業生支援も継続していきたい。

利用率については、年間を通して想定よりも低く、曜日ごとの差も大きい。安定した利用率を維持できるよう引き続き広報活動を行う。

第三者評価では交流の場が欲しいという声が多数あり、定期的に茶話会を実施している。茶話会では利用者からの情報発信のほか、職員からの情報提供などを行っている。毎回、多数の利用者が参加している。

4 計画相談

令和5年度においても、主としてセンターの利用希望者および利用者を中心に、サービス等利用計画の作成やモニタリングを実施した。令和6年度も20名程度に対して実施していきたいと考える。視覚障害者を対象とする地域の相談支援事業所が少ないことから、訓練終了後に継続を希望される方に対しては、利用者の不利益とならないよう、可能な限り対応していきたいと考える。

5 見学・見学実習、研修、講師派遣、外部連携等

(1) 見学・見学実習

見学は、視覚特別支援校と視覚障害者の雇用を検討している企業等について、見学実習

は公認心理師養成の大学・大学院や医科大学の見学実習について、受け入れをおこない、視覚障害及びセンターの事業・訓練内容の理解の向上に努めた。

(2) 研修

虐待防止・身体拘束研修会、国立リハビリテーション学院の初任者研修（オンライン）、視覚障害者就労支援者連絡会、視覚障害者支援者懇談会、社会福祉法人会計研修（オンライン）、事業継続計画策定講座等の研修会に参加し、職員の資質向上に努めた。

(3) 講師派遣

視覚障害者生活支援員養成課程、高等学校、専門学校、視覚障害者支援者向け研修会、ガイドヘルパー実技研修会等から依頼を受け、講師を派遣した。

(4) 外部連携

アビリンピックへの役員派遣、視覚障害関係のイベント等への職員派遣など、連携を図った。

令和6年度についても、見学や講師派遣、外部連携などは継続する予定である。また、研修については、さらに積極的に研修会に参加して職員の資質向上をはかりたい。

6 参考資料

(1) 令和5年度新規契約者の状況

	人数	平均年齢	性別		居住地		
			男	女	東京都区部	東京都市部	その他地域
機能訓練	41人	57.6歳	24人	17人	30人	4人	7人
就労移行支援	22人	47.4歳	8人	14人	15人	6人	1人

(2) 月初日在籍者の状況

月	機能訓練	就労移行支援
4月	47	26
5月	45	29
6月	48	29
7月	48	25
8月	48	26
9月	46	27
10月	52	28
11月	48	23
12月	52	26
1月	47	27
2月	44	28
3月	46	26
年間平均	47.6	26.7

(3) 令和5年度利用終了者の状況

	人数	平均年齢	性別		居住地			平均利用 月数
			男	女	東京都区部	東京都市部	その他地域	
機能訓練	43人	55.8歳	24人	19人	30人	5人	8人	12.7ヶ月
就労移行支援	23人	45.2歳	10人	13人	16人	3人	4人	15.7ヶ月

(4) 新規就職者・復職者の状況

	新規就職			復職
	一般事務	マッサージ関連	その他	
機能訓練	2	1	1	2
就労移行支援	7	6	1	0

(5) 機能訓練・就労移行支援の月別利用者数と利用率

月	開所日数 (日)	機能訓練（定員25名）			機能訓練（定員25名）			センター 平均利用率
		延利用者数 (人)	1日平均 利用者数(人)	月別利用率	延利用者数 (人)	1日平均 利用者数(人)	月別利用率	
4月	20	355	17.8	71.0%	230	11.5	76.7%	73.1%
5月	20	351	17.6	70.2%	254	12.7	84.7%	75.6%
6月	22	412	18.7	75.1%	254	11.5	77.0%	75.8%
7月	20	350	17.5	70.0%	199	10.0	66.3%	68.6%
8月	22	385	17.5	70.0%	205	9.3	61.8%	66.9%
9月	20	394	19.7	71.6%	214	10.7	64.8%	69.1%
10月	21	404	19.2	73.5%	218	10.4	66.1%	70.7%
11月	20	361	18.1	72.2%	222	11.1	74.0%	72.9%
12月	19	311	16.4	65.5%	205	10.8	71.9%	67.9%
1月	18	292	16.2	64.9%	232	12.9	85.9%	72.8%
2月	19	327	17.2	68.8%	233	12.3	81.8%	73.7%
3月	20	354	17.7	70.8%	230	11.5	76.7%	73.0%
年間合計	241	4296	17.8	70.3%	2696	11.2	74.0%	71.7%

令和5年度 検定試験事業報告(第23回日盲社協社内検定)

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

令和5年度社内検定試験は、東京・京都・福岡・仙台の4会場で令和5年11月12日に以下の通り開催した。

1 試験結果状況

- ・試験実施日 令和5年11月12日
- ・試験会場 東京:戸山サンライズ 京都:京都テルサ
福岡:クローバープラザ 仙台:仙台レインボーハウス
- ・受験申込者 65名 1. 東京29名・京都23名・福岡9名・仙台4名
2. 点字使用者27名・墨字使用者38名
- ・受験者 62名 1. 東京28名・京都23名・福岡8名・仙台3名
2. 点字使用者26名 墨字使用者36名
- ・合格者 11名 1. 東京4名・京都2名・福岡3名・仙台2名
2. 点字使用者6名・墨字使用者5名
3. 学科試験・実技試験とも受験 47名のうち4名
(1) 東京1名・京都1名・福岡1名・仙台1名
(2) 点字使用者4名
学科試験のみ受験 10名のうち4名
(1) 東京3名・京都1名
(2) 点字使用者1名・墨字使用者3名
実技試験のみ受験5名のうち3名
(1) 福岡2名・仙台1名
(2) 点字使用者1名・墨字使用者2名
- ・一部合格者 学科9名(点字使用者4名・墨字使用者5名)
実技8名(点字使用者5名・墨字使用者3名)
- ・合格率 17.7%

2 事業実施状況

- (1) 運営委員会 2回開催(4月7日、12月14日)
- (2) 検定実施委員会 9回開催(5月15日、6月20日、7月20日、8月3日、
8月17日、8月31日、9月6日、9月20日、12月4日)
- (3) 募集要項配布 7月1日配布開始
- (4) 試験実施 11月12日
- (5) 試験結果発表 12月20日
- (6) 合格証書発送 令和6年1月16日

令和5年度 日盲社協事業報告附属明細書

令和5年度事業報告には、社会福祉法施行規則第二条の二十五第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しませんでした。